

授業科目	担当教員	開講年次	単位数	時間 (1単位中)	授業形態
基礎看護学 I	高橋恵	1年次前期	1	35	講義 演習
授 業 目 標					
看護の対象を総合的にとらえるために必要な観察の方法とフィジカルアセスメントの能力を習得することができる。					
授 業 計 画					
回					
1	ヘルスアセスメントとは				
2～4	看護におけるヘルスアセスメント				
	ヘルスアセスメントと看護の役割				
	フィジカルアセスメントとは				
	フィジカルアセスメントの意義と必要性				
5～9	全体の概観				
	<ul style="list-style-type: none"> ・フィジカルアセスメントに必要な技術 ・バイタルサインの観察とアセスメント ・計測 				
10～16	系統別フィジカルアセスメント				
	学内演習				
17	心理・社会状態のアセスメント				
18	終了試験				
教 科 書			参 考 書 等		
系統基礎看護学講座	専門分野 I	基礎看護技術 医学書院	・看護がみえる③	フィジカルアセスメント メディックメデ	
評 価 方 法					
出席状況・授業態度・実技演習・終了試験					
評価配点		ヘルスアセスメント	80点		
		コミュニケーション	20点		

授業科目	担当教員	開講年次	単位数	時間 (1単位中)	授業形態
基礎看護学Ⅰ	上村みちる	1年次後期	1	10	講義・演習
授 業 目 標					
1. コミュニケーションを促進し、より良い人間関係を築くためには、自己理解を深める必要があることを学ぶ。 2. 看護師のコミュニケーションスキルは、看護の目的を達成していくために重要であることを理解する。 3. ケアリングは、効果的なコミュニケーションによる対人関係をとおして実践できることを理解する。 4. ロールプレイを通して自己のスキルを認識し、協働に活かすための課題を見つける。 5. 終末期にある人とその家族の気持ちに寄り添った看護とは何かを考える。					
回	授 業 計 画				
1	1. 対人関係プロセスとしての看護 (1) 看護師と患者の関係 (2) 対人関係の成立に不可欠な要件 (3) コミュニケーションプロセス (4) ロールプレイ				
2	2. 看護におけるケアリングとコミュニケーション 3. 医療における信頼関係とコミュニケーション (1) 治療的コミュニケーション (2) チーム医療におけるコミュニケーション・アサーション (3) ロールプレイ「頼む」				
3	4. 医療における信頼関係とコミュニケーション (1) ロールプレイ「自己の傾向をみる」 5. 自己理解に向けて (1) 自己を客観的に見るスキル				
4	6. 終末期におけるニーズと援助 (1) 身体的・心理的・社会的ニーズ (2) 自分らしく生きぬくということ (3) DVD「ありのままの最期」・終末期における看護の役割とは (4) 『最期を見る』自己に必要なこと				
5	筆記試験				
教 科 書			参 考 書 等		
系統基礎看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 医学書院			「看護覚え書き」フローレンス・ナイチンゲール		
評 価 方 法					
①パフォーマンス課題：「最期を見る」自己をみつめる：指定用紙に記載し、指定された期日に提出する。学生便覧に記載された理由以外での期日外提出は認めない。よって未提出パフォーマンス課題は評価対象外とする。 ②ロールプレイ実践評価点 各5点 計10点 ③自己理解課題：指定された期日に提出。ルーブリックにて評価する。 ④科目総評価：筆記試験60点、ロールプレイ評価10点、自己理解課題10点、パフォーマンス課題20点の合計100点。					
備 考					
第1～第4回：パソコン準備 第1回：講義開始前にグループを作った状態で着席してください。3人もしくは4人でロールプレイを行います。メンバーは自由に決めてください。(男子のみでメンバーを構成してもよい)マジックペン・のりを使用します。マジックペンの色の指定はありません。 第2回：講義後半で「ロールプレイ」を行います。グループ構成は3人もしくは4人、第1回と違うメンバーで構成してください。男女の割合も自由です。					